

## 平成29年度第2回学校給食共同調理場運営委員会 会議概要

1 日時 平成30年3月15日(木) 午後2時から午後3時30分まで

2 会場 柏崎市役所 教育分館3階 201会議室

### 3 出席者

学校給食共同調理場運営委員 9名

齋喜和彦【会長】(田尻小校長)

太平敏夫【副会長】(北条中校長)

近藤隆司(剣野小校長)

俵木千恵(枇杷島小PTA副会長)

熊耳江利子(比角小PTA副会長)

竹内夕紀(鯨波小PTA副会長)

矢代浩(高柳小PTA会長)

今井恵(新潟県栄養士会)

永瀬吉彦(柏崎保健所所長)

欠席：大島(2号委員)

【互選により会長及び副会長を決定】

教育総務課 5名

伊部教育総務課長(兼学校給食共同調理場長)

学校給食係 平田係長 品田主任 田村主事 湯本非常勤

栄養教諭・学校栄養職員 12名 ※( )は調理場名

高野(中央) 徳井(中央) 厚東(南部) 長束(西部) 遠山(鯖石) 今井(中央第2)

近藤(北部) 池田(北部) 星(北条) 神林(高柳) 近藤(枇杷島) 田崎(内郷小)

### 4 報告事項

(1) 平成29年度学校給食事業の運営概要について

(2) 平成29年度学校給食の実施概要について

① 共同調理場の食数及び人員配置の概要

② 栄養摂取状況

③ 年間1食単価の実施状況

(3) 平成29年度栄養教諭等による食育の取組みについて

## 5 議題

- (1) 平成30年度学校給食共同調理場の稼働日について（案）
- (2) 平成30年度学校給食費について（案）
- (3) 平成30年度各共同調理場の学校給食会計予算について（案）
- (4) 平成30年度物資購入業者の指定及び調達品目について（案）
- (5) 学校給食費取扱要領の改訂について

### 【委員からの質疑に対し、学校給食係が回答】

Q 残量について、余分はどれくらい配缶しているのか。

A 基本は人数分ちょうど盛りきることができるよう配缶している。

Q 減塩の取組みについて詳しく知りたい。

A 風味、酸味、食材の味を活かすことに力を入れている。

Q 給食に関するHPの利用はどんな状況か。

A 給食便りと保育園・小・中合同メニューのぱぐもぐランチを載せている。  
市のHPから、給食にたどり着くまでが困難であり、今後の課題である。

Q HP等で一般市民向けに広告する機会を設けてはどうか。

また、スーパーで給食便りが張り出してあると夕食の参考になる。

A 現在、一部のスーパーに給食便りを掲示している。

それ以外の情報提供については今後検討していく。

### 【各協議内容について審議を受け、すべて承認】

## 【栄養士から平成29年度の取組を説明】

### （中央調理場）

減塩運動と地域を知る取組を継続して行っていく。

他の受配校の生徒や愛菜館から見学に来ている。見学しやすい施設になっているので、多くの方に見ていただきたい。

### （南部調理場）

成長期に必要なカルシウム、歯の予防と肥満対応を考えた食生活の指導を行っている。関連した講演会やカルシウムアップメニューなども実施し、効果を期待している。

### （西部調理場）

正しい姿勢、箸の持ち方などマナーの指導を強化。給食時に栄養士が児童と一緒に正しい食べ方を給食で体験するよう意識している。水分の取り方の指導では、汗の蒸発の様子を、カラーセロファンを用いて示す等工夫している。

### （鯖石調理場）

保護者からの要望で、給食だよりでレシピを掲載。保護者の給食への興味が伺える。栄養指導が一方通行にならないように担任を通して保護者と連携を図る。

### （中央第2調理場）

47都道府県の料理を月に数回取り上げて献立を作成。「見て、知って、食べて、学べる給食」に取り組んでいる。

### （北部調理場）

給食委員会と連携し、受配校には残量ゼロの食べ切りチャレンジを実施。マナー強化週間の取組

### （北条調理場）

コミュニティセンターのレシピ集から献立に取り入れる。食育だよりを定期的に発行している。小・中学校行き来のしやすさを最大限に活用

### （高柳調理場）

食数が少ないからこそできる手作り給食の提供。データ集計をもとに、望ましい生活習慣を目指していく。

### （枇杷島調理場）

和食の良さや地場産野菜への理解を深めるため、毎月1回 WASHOKU 給食を実施。また、受配校の行事に給食を合わせるよう工夫している。

### （西山地区）

30年度からの共同調理場化へ向け、スムーズに移行できるよう準備している。食事のマナー、箸の持ち方、姿勢等の給食指導に力を入れている。